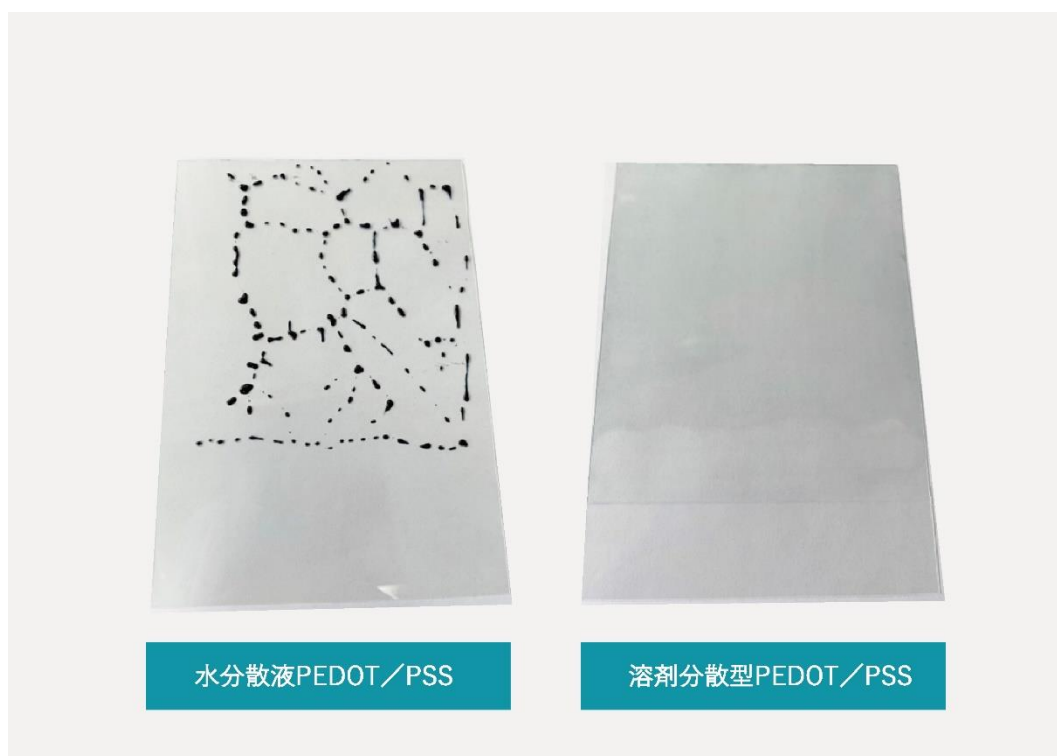


PEDOT : PSS 溶剤分散型導電性ポリマー

特長

- PETフィルムやガラスに対する高い濡れ性
- 水系では使用しづらい電子材料への使用が可能
- 添加量による表面抵抗率の調整が可能
- 各種有機溶剤系での設計が可能



PETフィルムへの濡れ性

※導電性ポリマー溶液塗工直後

※上記データは参考値であり、保証値ではございません。

用途例

- 帯電防止（ハードコート剤、接着剤）
- 正孔輸送層

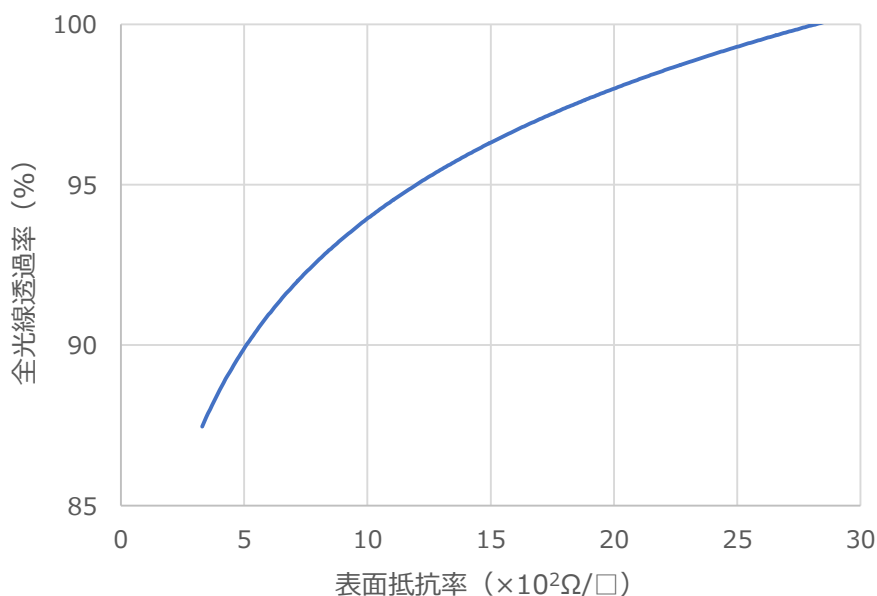
PEDOT : PSS 溶剤分散型導電性ポリマー

製品データ

	GM-24
主溶剤	MEK
表面抵抗率 (Ω/\square)	1.62×10^3
ヘイズ (%)	0.00
全光線透過率 (%)	95.6

上記はバーコーター#12にて原液塗工 乾燥：80°C×1 minで成膜。
且つ、基材：PETフィルム（TT 90.7, ヘイズ 0.53）を差し引いた値。

透過率と表面抵抗率の関係



※上記データは参考値であり、保証値ではございません。

UVハードコートへの応用例

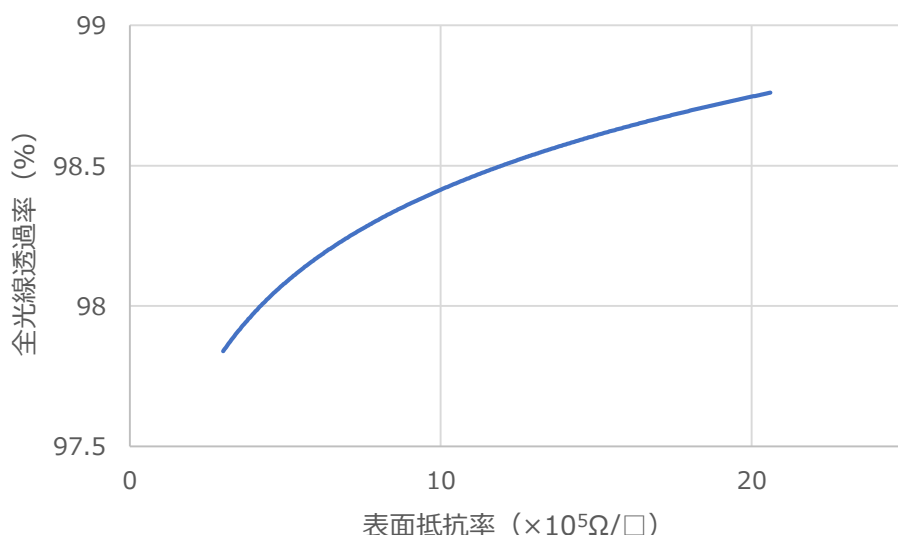
塗工方法

25%DPHA MEK溶液に、DPHA成膜に対しPEDOT：PSS成分が1.0部、1.5部、2.0部となるように添加し混合。

バーコーター（#12、wet27.5 μ m）でPETフィルム（TT 90.7，ヘイズ 0.53）にコートして、UV硬化処理後、フィルムの物性を測定。

添加量	1.0部	1.5部	2.0部
バーコーター	# 12	# 12	# 12
表面抵抗率（ Ω/\square ）	2.06×10^6	6.37×10^5	3.04×10^5
ヘイズ（%）	0.00	0.00	0.02
全光線透過率（%）	98.8	98.1	97.9
セロテープ剥離	○	○	○

透過率と表面抵抗率の関係



※上記データは参考値であり、保証値ではございません。